

令和5年度事業報告書

認定 NPO 法人 Present Garden to

今年度は 24 節気、昨年作成したものを復習しつつ、余裕を持って新しい情報やその季節を味わいながら過ごしました。

昨年の目標「恩送り・ペイフォワード」も続けながら「忍耐、品格、希望」という聖書の箇所からの目標を掲げました。パウロ書簡の信仰上の難しい箇所ではありますが、メンバーにとって降りかかる様々な辛い出来事を少し我慢することにより強く、潔く、より善く練られ、品格と保証を与えられ希望が湧いてくる。そのように捉え、この一年を通じて考え、心を鍛えてきました。折しも 5 月に第 5 回アンクルン演奏会を行うことになり、それに向けての練習にも厳しさが増して来ています。その中でよく耐え、より正確に、より高みへと登って行くその過程を経験しながら、この目標に表された世界（意味）をほんの少し知ってもらえたたら・・・きっとメンバー一人ひとりの人格も高められることでしょう！健常者だから障害者だからと区別することなく共に目指して歩んでいます。

今年度は今まで非常勤で働いておられたスタッフが常勤として入って下さいました。P G のプログラムの流れやメンバーそれぞれの支援方法、毎日の決められた仕事や記録、担当する活動など多岐に渡る仕事内容を把握することから努力して下さっています。おかげで毎日の支援体制が整い、より細やかに、より充実して作業に支援に取り組むことが可能になりました。

1. 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

No.	事業名	事業内容	実施日時	実施場所	支援者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数
1	障害福祉サービス事業	就労継続支援 B 型	5 日／週	法人施設	4 人／日	知的障害者 11 人／日
	事業内活動名	活動内容	実施日時	実施場所	支援者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数
	障害者と市民との交流活動	講習会、地域事業との連携	1 回／月	南多聞台第一・第二公園	利用者 11 名 職 員 4 名	地域貢献
	里山維持管理活動	国営明石海峡公園の里山維持管理活動	1 回／月	国営明石海峡公園神戸地区	15 人／回	知的障害者 11 人／日
2	障害福祉サービス事業	共同生活援助	5 日／週	県営住宅	2~3 人／日	知的障害者 5 人／日
3	障害者によるアンクルン・オーケストラ演奏事業	障害者の音楽活動支援活動	2 回／月	近隣集会所	8 人／回	障害者 21 人／回
		演奏活動とワークショップ	—	—	—	—

2. 活動報告

特定非営利活動に関する事業

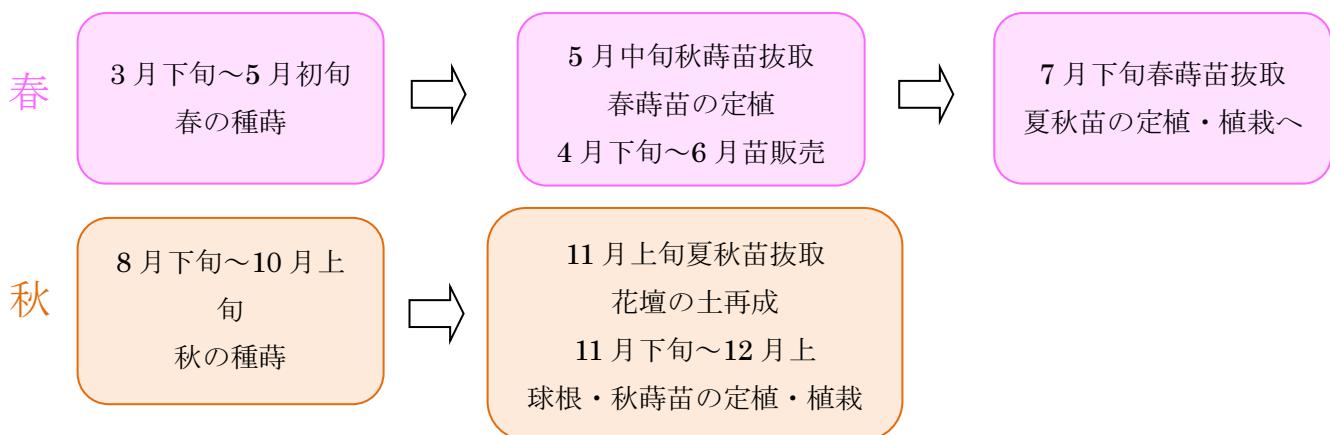
・障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

① 園芸プログラム

プレゼント・ガーデンの実習園庭にて基本的な園芸療法プログラム（種を蒔き、育苗して花を咲かせる）を行っています。園芸療法は花を育てながらメンバーひとりひとりの障害を含めた人格と向き合い、その精神的、身体的、社会的課題を乗り越えるためのプログラムを提供します。そして心身ともに、より健康で社会に貢献できるスタンスを持つことができるよう支援しています。1年間を1クルーと考えるなか、まず「1日の生活リズムを確立」→「春夏秋冬：季節の変化と園芸作業への適応」→「年間園芸活動の把握」これらの活動を繰り返しながら個々の人格的成长を積み重ねています。

25年続けている園芸プログラム。ある意味で毎年同じことの繰り返しかもしれませんが、ちょっとした季節・気候・気温の変化が草花の生育に影響していることを繊細に感じ取ることができます。メンバーは繰り返すことで作業を理解し、そこで何が起きるのかをどこかで感じてくれている。その小さな変化や成長を毎年どこかのタイミングで起きていて、それに気づくことができた時に感動することができます。第5回アンクルン演奏会の練習・準備がある中でもお花の生育は待ってくれません。どちらも同時進行で行えるということ自体がすごいことだと改めて振り返ると感じられます。何事も繰り返し、積み重ね、努力と成長があるからこそ為せることです。

◆種蒔き 年二回



② その他の園芸プログラム

小寺農園

では、自ら育て、自ら食す。そして家族にも喜んでもらい、木曜日（活動日）の野菜のお土産を双方が喜び楽しみにしています。

何年行っていてもお花を育てる以上に野菜を育てるということは難しいように感じます。それでも色々な農法に挑戦し、その実現にメンバーの力は不可欠です。

「豊作！」と言えることが去年よりも多かった印象があるほどたくさんの野菜を収穫し、自宅へ持ち帰り、グループホームで食し、「おいしかった～」と皆で話題にすることができる時間があります。暑い時も寒い時も全員の力を畑に注いで楽しみながら農園作業を行っています。

◆小寺農園 野菜作り

週一回木曜日



東谷公園市民花壇オアシス

は、実習庭園に加えて地域の多くの方々に声をかけていただける一番の場所となっています。花を育てなが

ら「ありがとう」「綺麗だね」と言っていただくことができたり、「あの公園の綺麗な花壇はだれがやっているのだろう」という話を耳に挿むと誇らしく思え、地域・社会へのちょっとした貢献を感じることができます。



段々と「彼らが花壇を維持してくれている」というような印象を地域の皆様が持ってくださっているように感じます。隣の幼稚園の花壇植栽活動も重なってプレゼントガーデンの活動を地域の方々がよく理解して下さっています。冬の土の天地返し作業では木の根がかつてないほどはびこっていて、ただ土を掘るという一動作も大変なほどの重労働になりました。それでも「みんなでやれば」なんとかなるとメンバー10人の力が一段と結束しその大きさを感じることができます。スタッフの毎日の水やりも大変ですが、その労力以上のものをオアシスから得ることができます。

◆東谷公園市民花壇

週一回月曜日

③ ボランティア講師プログラム

継続して多くのボランティアの皆さまがプレゼントガーデンにプログラムを提供してくださっています。

それぞれのプログラムが身体、芸術、音楽、心とメンバーのみならずスタッフの色々な面へアプローチし、大切な経験・体験を積み重ねています。各プログラムの内容も年々僅かな変化が見られその中にメンバーの1mmの成長も含まれているように感じます。プレゼントガーデンを深く理解して提供して下さるボランティア講師の皆様に深く感謝しています。

◆音楽療法	月一回第一火曜日	石川理子
◆グローリングハート	月一回第四火曜日	丹羽和子
◆スイミング	月一回火曜日	斎藤宏太郎<株ケイゾク>
◆美術教室	年六回	竹岡 豊
◆薬膳	月一回水曜日	楳 晴美
◆体操の時間	冬季週一回月曜日	各務芳彦
◆朗読の時間	月一回第二火曜日	中原恵子 (スタッフ)



絵本の時間



音楽療法



グローイングハート



美術教室



薬膳



スイミング



体操の時間

④就労支援事業活動

- ◆花苗販売・植栽（園芸部門）
- ◆手芸活動（手芸部門）
- ◆軽作業等・役務（軽作業部門）

今年度の月額平均支給額は 11,527 円となりました。演奏会イヤーの中で、アンクルンと通常業務を行うのはスタッフ・メンバー共に大変な年度になりました。その中で例年よりも多くの作業をこなすことができ、収入は昨年よりも上がっておりまます。一方で物価高騰や経年劣化のための用具や装備といった消耗品の支出も多くなりました。年度を通して無理なく、バランスの取れた日程、作業内容で行えた一年とだったと感じています。



④ 障害者と市民の交流活動

二年目となる公園清掃、月に一回の清掃・除草作業を行い時期や清掃方法を確立することができてきた印象です。繰り返しの作業になればなるほどメンバーは動きがよくなり、毎月のプログラムであることでとても安定した作業となりつつあります。近隣の方に声をかけて頂いたり、時にはお菓子を頂くようなこともあります、地域との交わりになっていることを感じています。管理会としての活動としてはあまり進んでいない印象ですが、最低限担える部分をしっかりと継続させていきたいと考えています。

地域公園清掃	月一回	南多聞台第一・第二公園
--------	-----	-------------



⑥里山管理活動

知的に障害を持つメンバーが林の中を歩くこと、竹林整備において竹を切り倒し、枝を取り、運搬するという作業が困難なく行えていることは作業を始めたころから考えると誰も予想できなかつたことであり、大きな成果と言えます。これらを継続して行うことが重要であると考えています。

今年度は活動日が雨に見舞われることが多く、活動を中止することも多く、活動中にも雨が降り足元が悪くなる事がありました。これほど天候に恵まれない年も珍しいと感じる年でした。限りある活動時間の中ではありましたが豊かな自然に包まれながらメンバーと共に汗をかき、活動をすることが出来た一年でした。

四ツ辻の竹林整備では、段々と伐る竹が少なくなってきたことを体感し、整備も終盤になってきていることを感じています。その中で竹林を残すことを考えて箇所を観察すると、破竹はかなり密集させて生育する必要があることが改めて分かりました。また一方で竹を全て伐ることで日の光は多く差し込むが下草が多くなることでその後の整備への不安も感じているところです。

スミレ増殖については、どうしても育てたものを自然に戻すということに困難さをいつも感じていますが、活動自体と継続に意義を持ち続けている。園芸種に似た感覚でそこに花を添えるということでも良い活動と考えています。



藍那里山活動

月一回（年間 全9回）

辰巳憲一

・障害福祉サービス事業（共同生活援助）

令和2年9月1日事業開始。定員5名の共同生活援助（グループホーム）「Present Garden tree」を明石市松が丘の県営住宅二部屋を賃貸して実施しています。誰もが住みたいと思えるような家になるよう内装・家具等を整え、「親なき後」の不安を持つ利用者とその保護者の皆さんのために事業を行っています。

Present Garden tree も四年目になりました。メンバーの日常生活はとてもスムーズに、安定して流れている中、今年度はスタッフにとても恵まれた一年となりました。古くからのスタッフはメンバーの健康管理や生活面に新しいアイディアを提供し、新しいスタッフはメンバーのために何ができるかということを考えてくれる、そのような素晴らしいスタッフばかりです。

グループホームでの生活はとても順調な中、年齢を重ねていくメンバーの体調の変化により一層注意する必要性を感じます。事業所側が担う部分が増えることを予想して、例えば歯科受診を家族からスタッフが通院に付き添うことを始めています。支援からより介護へと変化していくことを意識しつつ、日々の健康管理・体力作りについて就労B側と連携を密にして元気なメンバーを維持しできるように努めると共に必要な支援・介護の準備をしています。



・障害者によるアンクルン・オーケストラ演奏事業



今年度は2024年5月の第5回アンクルン演奏会に向けて、再びいろいろなジャンルのたくさんの曲を練習しています。今回は「Grand Finale」と銘打ちました。メンバー、関わって下さっている音楽家の皆さん、代表、皆歳を重ねてきました。コロナで期間が大きく空き、モチベーションを上げることも大変な中、この演奏会に全力を傾けています。もしかしたら演奏会後関わることのできる人が少なくなっていくかもしれません。たとえそうであっても、最後になったとしてもあの第5回演奏会は良かったねと思い返せる演奏会にしたいという思いから「Grand Finale」という言葉が浮かびました。今までしてきたことの集大成といつても良いのかもしれません。メンバーもここが頂点とも思えるほど充実しています。もちろん終わりの最後ではありません、形を変え、やり方を変えこのアンクルンは続けて参ります。一つの節目としてのステージを創りあげたいと思っています。

◆レッスン	月二回第二・第四土曜日	近隣集会所	北山紀子・石川理子 奥田幸果
-------	-------------	-------	-------------------

3. 事業実施体制

①会議に関する事項

◆通常総会

開催日 令和5年6月17日(土) 10:00~11:20

開催場所 法人第二作業棟ひだまり

出席者 21名（うち表決委任者9名） 正会員総数21名

第1号議案 任期満了に伴う役員予選に関する件

第2号議案 令和4年度事業報告に関する件

第3号議案 令和4年年度決算に関する件

令和4年年度監査報告

第4号議案 令和5年度事業計画に関する件

第5号議案 令和5年度予算に関する件

◆理事会

令和4年度第一回理事会

開催日 令和5年5月31日(水) 14:00~14:30

出席者 理事5名（うち表決委任者1名）

議案 第1号議案 令和5年度通常総会に関する件

②事務局体制

◆事務長 高野ささぐ

③会員

◆正会員 21名